

総合原価計算 第19問 問題

当社では、製品を連続生産しており、単純総合原価計算を行っている。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。なお、減損の計算方法は、度外視法を採用している。また、完成品単位原価の計算において端数が生じた場合は、小数点以下第2位で四捨五入しなさい。

(資料) ① 当月生産データ

月初仕掛品	2,000 kg (50%)
当月投入	<u>12,000</u>
合計	<u>14,000</u> kg
月末仕掛品	1,200 kg (40%)
正常減損	800
完成品	<u>12,000</u>
合計	<u>14,000</u> kg

(注1) 原料はすべて工程の始点で投入される。

(注2) ()内の数値は加工進捗度を示している。

(注3) 正常減損は工程の80%地点で発生している。

② 月初仕掛品原価、当月製造費用

	月初仕掛品原価	当月製造費用
原料費	508,875 円	2,880,000 円
加工費	<u>500,752</u>	<u>6,132,720</u>
合計	<u>1,009,627</u> 円	<u>9,012,720</u> 円

問1 平均法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

問2 先入先出法を用いて月末仕掛品原価と完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

	問1	問2
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

総合原価計算 第19問 模範解答

	問 1	問 2
月末仕掛品原価	533,163 円	530,880 円
完成品総合原価	9,489,184 円	9,491,467 円
完成品単位原価	790.8 円/kg	791.0 円/kg

【解説】

生産データ				
2,000	1,000	12,000	12,000	加工換算量；
		800	640 (0.8)	月初仕掛品 2,000kg×50%=1,000kg
12,000	12,120	1,200	480 (0.4)	月末仕掛品 1,200kg×40%= 480kg
				正常減損 800kg×80%= 640kg

問 1

総合原価計算表					
(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
月初仕掛品	2,000	508,875	1,000	500,752	1,009,627
当月投入	12,000	2,880,000	12,120	6,132,720	9,012,720
合 計	14,000	3,388,875	13,120	6,633,472	10,022,347
月末仕掛品	1,200	290,475	480	242,688	533,163
差 引	12,800	3,098,400	12,640	6,390,784	9,489,184
正常減損	800	—	640	—	—
完 成 品	12,000	3,098,400	12,000	6,390,784	9,489,184

完成品単位原価；9,489,184円÷12,000kg≒790.8円/kg

問 2

総合原価計算表					
(先入先出法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合 計
当月投入	12,000	2,880,000	12,120	6,132,720	9,012,720
月末仕掛品	1,200	288,000	480	242,880	530,880
差 引	10,800	2,592,000	11,640	5,889,840	8,481,840
正常減損	800	—	640	—	—
差 引	10,000	2,592,000	11,000	5,889,840	8,481,840
月初仕掛品	2,000	508,875	1,000	500,752	1,009,627
完 成 品	12,000	3,100,875	12,000	6,390,592	9,491,467

完成品単位原価；9,491,467円÷12,000kg≒791.0円/kg